



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社キャリアデザインセンター 上場取引所 東
 コード番号 2410 URL <http://type.jp/ir>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 多田 弘實 TEL 03-3560-1601
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画局局长 (氏名) 岡本 智 配当支払開始予定日 -
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の業績（平成21年10月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	1,238	△29.2	△443	—	△442	—	△444	—
21年9月期第3四半期	1,748	—	△909	—	△891	—	△967	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年9月期第3四半期	△7,412	47	—	—
21年9月期第3四半期	△16,380	40	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年9月期第3四半期	1,539	886	886	886	57.6	12,971	33	
21年9月期	2,026	1,230	1,230	1,230	60.7	20,775	54	

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 886百万円 21年9月期 1,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
21年9月期	—	—	0	00	0	00
22年9月期	—	—	0	00	—	—
22年9月期（予想）	—	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末基準日における配当予想は未定であります。（「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照）

3. 平成22年9月期の業績予想（平成21年10月1日～平成22年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,851	△12.0	△430	—	△431	—	△434	—	△7,326	38

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年9月期3Q	70,544株	21年9月期	61,440株
② 期末自己株式数	22年9月期3Q	2,202株	21年9月期	2,202株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年9月期3Q	59,972株	21年9月期3Q	59,051株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は3ページ「1. (3) 業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当期の配当予想額は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(第3四半期会計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間(平成22年4月1日～平成22年6月30日)におけるわが国経済は、欧州における新たな金融不安の懸念、円高やデフレの影響など依然として先行き不透明な状況が続いているものの、輸出や生産の持ち直しなどを背景に、企業収益も大企業を中心に回復の兆しが見えて参りました。

国内の雇用情勢におきましては、完全失業率は引き続き高い水準で推移しておりますが、有効求人倍率は回復基調にあり、求人サイトにおける求人広告件数も上昇する等、求人企業の採用意欲は改善されてきております。

このような状況において当社は、「エンジニア」・「女性」・「営業」・「コンサル」マーケットの取引社数の拡大に努め、売上高は第2四半期会計期間と比べて増加いたしました。また、6月から、マイクロソフトが運営するポータルサイト『MSN®』における求人ページの転職カテゴリに『@type』及び『女の転職@type』の求人情報を独占的に掲載しております。これにより、認知度の向上と広告宣伝費の削減が可能となりました。

この結果、当第3四半期会計期間における売上高は、444,604千円(前年同四半期比126.4%)、損益面につきましては経常損失99,990千円(前年同期は経常損失369,794千円)、四半期純損失100,943千円(前年同四半期は四半期純損失370,604千円)となりました。

<事業の部門別ごとの業績>

事業の部門別ごとの業績は次のとおりであります。

①キャリア情報事業

当社キャリア情報事業は、Web求人広告・情報誌求人広告・適職フェア等の商品・サービスを展開しております。

当第3四半期会計期間におきましては、従来からの強みである「エンジニア」マーケットにおける取引社数の拡大を進めたことにより、『@type』の掲載件数が前年を上回り、売上高は対前年同四半期比153%の結果となりました。また、「営業」マーケットにおきましては対前年同四半期比141%、「女性」マーケットにおきましては対前年同四半期比108%、「コンサル」マーケットにおきましては対前年同四半期比166%の結果となり、前期から強化を進めて参りました売上高向上施策の効果が見られており、売上高は改善傾向にあります。

以上の結果、当第3四半期会計期間におけるキャリア情報事業の売上高は332,694千円(前年同四半期比131.8%)となりました。

②人材紹介事業

当社人材紹介事業は、ご登録頂いた求職者の方に最適な求人案件をご紹介する登録型人材紹介を運営しております。

当第3四半期会計期間におきましては、求人企業における採用意欲の回復に伴い、以前から強化をして参りました「エンジニア」マーケットにおける成約率が改善し、売上高が第2四半期会計期間と比べて増加いたしました。また、求人企業から獲得する求人案件数におきましても右肩上がりに推移しており、「エンジニア」マーケット以外のマーケットにおきましても成約率が向上しております。

登録者の獲得におきましては、広告宣伝費を削減した影響により獲得数は減少したものの、依然として高い水準での獲得を実現しております。

以上の結果、当第3四半期会計期間における人材紹介事業の売上高は111,910千円(前年同四半期比112.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産

当第3四半期会計期間末の総資産は1,539,134千円となり、前事業年度末に比べ487,401千円減少いたしました。

流動資産は1,115,234千円となり、前事業年度末に比べ215,533千円減少いたしました。主な減少要因につきましては、有価証券が299,490千円減少したこと等によるものです。

固定資産は423,899千円となり、前事業年度末に比べ271,868千円減少いたしました。主な減少要因につきましては、無形固定資産が59,069千円、長期預金が200,000千円減少したこと等によるものです。

当第3四半期会計期間末の負債合計は652,647千円となり、前事業年度末に比べ143,187千円減少いたしました。主な減少要因につきましては、流動負債における短期借入金123,500千円、未払金が52,163千円減少したこと等によるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は886,486千円となり、前事業年度末に比べ344,214千円減少いたしました。これは、利益剰余金が444,540千円減少いたしましたことが、資本金および資本準備金が50,163千円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ68,029千円減少し、722,094千円となりました。

当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間の営業活動により減少した資金は、89,863千円(前年同四半期は350,405千円の減少)でありました。これは、税引前四半期純損失が100,124千円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間の投資活動により減少した資金は、11,257千円(前年同四半期は8,248千円の減少)でありました。これは、無形固定資産の取得による支出が10,251千円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間の財務活動により増加した資金は、35,444千円(前年同四半期は259千円の減少)でありました。これは、短期借入金の純減額が64,500千円でありましたが、株式発行による収入が100,326千円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の業績予想につきましては、平成22年5月10日に公表いたしました通期業績予想の修正から変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	922,094	790,123
受取手形及び売掛金	160,740	120,280
有価証券	—	299,490
仕掛品	2,713	10,219
その他	30,483	111,433
貸倒引当金	△797	△779
流動資産合計	1,115,234	1,330,768
固定資産		
有形固定資産	84,082	99,417
無形固定資産		
ソフトウェア	237,095	268,361
その他	2,629	30,433
無形固定資産合計	239,724	298,794
投資その他の資産		
長期預金	—	200,000
その他	100,092	97,556
投資その他の資産合計	100,092	297,556
固定資産合計	423,899	695,768
資産合計	1,539,134	2,026,536
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,508	13,492
短期借入金	393,500	517,000
未払金	78,801	130,965
未払法人税等	4,821	1,408
その他	142,634	108,086
流動負債合計	621,266	770,953
固定負債		
退職給付引当金	31,381	24,881
固定負債合計	31,381	24,881
負債合計	652,647	795,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,663	508,500
資本剰余金	830,616	780,453
利益剰余金	△407,194	37,346
自己株式	△95,598	△95,598
株主資本合計	886,486	1,230,701
純資産合計	886,486	1,230,701
負債純資産合計	1,539,134	2,026,536

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,748,633	1,238,550
売上原価	641,387	372,496
売上総利益	1,107,246	866,053
販売費及び一般管理費	2,016,536	1,309,399
営業損失(△)	△909,289	△443,345
営業外収益		
受取利息	2,662	670
解約手数料	9,060	5,160
還付加算金	5,233	—
その他	593	2,158
営業外収益合計	17,549	7,989
営業外費用		
為替差損	0	—
支払利息	—	5,830
支払手数料	235	—
その他	—	896
営業外費用合計	235	6,726
経常損失(△)	△891,975	△442,083
特別損失		
固定資産除却損	27,500	—
特別損失合計	27,500	—
税引前四半期純損失(△)	△919,475	△442,083
法人税、住民税及び事業税	2,430	2,457
法人税等調整額	45,373	—
法人税等合計	47,803	2,457
四半期純損失(△)	△967,279	△444,540

(第3四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	351,757	444,604
売上原価	150,901	124,306
売上総利益	200,856	320,298
販売費及び一般管理費	573,092	419,399
営業損失(△)	△372,236	△99,100
営業外収益		
受取利息	602	162
解約手数料	1,810	1,155
その他	29	40
営業外収益合計	2,442	1,358
営業外費用		
支払利息	—	1,806
その他	—	441
営業外費用合計	—	2,247
経常損失(△)	△369,794	△99,990
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	△133
特別利益合計	—	△133
税引前四半期純損失(△)	△369,794	△100,124
法人税、住民税及び事業税	810	819
法人税等合計	810	819
四半期純損失(△)	△370,604	△100,943

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△919,475	△442,083
減価償却費	94,226	92,008
貸倒引当金の減少額	△2,727	△1,712
賞与引当金の減少額	△71,612	—
退職給付引当金の増加額	5,770	6,500
受取利息	△2,662	△670
固定資産除却損	27,500	—
支払利息	—	5,830
売上債権の増減額(△は増加)	308,830	△38,880
たな卸資産の減少額	34,562	7,537
仕入債権の減少額	△52,326	△11,984
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,342	19,671
未払金の減少額	△102,147	△50,313
前払費用の増加額	△109,264	△5,620
その他	8,121	50,355
小計	△791,550	△369,362
利息の受取額	4,065	641
利息の支払額	—	△6,586
法人税等の還付額	155,830	4,762
法人税等の支払額	△8,272	△1,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	△639,926	△372,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	—
定期預金の払戻による収入	500,000	—
有価証券の売却による収入	—	299,490
有形固定資産の取得による支出	△4,577	△6,234
無形固定資産の取得による支出	△86,267	△14,644
敷金及び保証金の差入による支出	△1,545	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	51,698
その他	△2,538	△2,538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,927	327,771
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△123,500
株式の発行による収入	—	100,326
株式の発行による支出	—	△351
自己株式の取得による支出	△24,403	—
配当金の支払額	△59,959	△193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,362	△23,718
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△819,216	△68,029
現金及び現金同等物の期首残高	1,309,589	790,123
現金及び現金同等物の四半期末残高	490,372	722,094

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年6月9日付で、全研本社株式会社、多田弘實、川上智彦、他29名から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期会計期間におきまして資本金が50,163千円、資本準備金が50,163千円増加し、当第3四半期会計期間末におきまして資本金が558,663千円、資本準備金が761,310千円となっております。